

財務の概要

1. 2019年度決算

現在、本学は、創立 150 周年となる 2032 年に向けた中長期計画「Waseda Vision 150」を通じて、グローバルユニバーシティを目指し、改革に取り組んでいる。「Waseda Vision 150」の STAGE2（2018～2022 年度）の 2 年目となる 2019 年度においても、昨年度に引き続き「世界で輝く Waseda」を目指し、更なる改革を推進した。

<事業活動収支計算書>

- ・学生生徒等納付金は、学部新入生は定員厳格化のため減少しているが、2017 年度からの学費改定（入学初年度の学費負担軽減）の効果により 666.8 億円（前年度比 +3.7 億円）となった。入学志願者数が 6% 減少したことにより、手数料収入は 41.4 億円（同△2.1 億円）となった。また、前年度に比べて外部資金の獲得額が減少し、付随事業収入が 79.6 億円（同△7.2 億円）となった。
- ・支出面では、退職教職員の減少により人件費が 489.4 億円（同△4.5 億円）、電力会社の切替えによる光熱水費の減少や次期法人系システムの構築終了による情報関連整備経費の減少等により教育研究経費が 431.2 億円（同△7.6 億円）となった。
- ・以上により、教育活動収入計 989.5 億円（同△5.2 億円）、教育活動支出計 960.2 億円（同△10.6 億円）と收支いずれも減少した結果、教育活動収支差額は 29.2 億円（同+5.4 億円）となった。
- ・教育活動外収支は、運用商品の一部利益確定等により、受取利息・配当金が 54.8 億円（同+30.4 億円）となり、教育活動外収支差額は 58.4 億円（同+30.1 億円）となった。
- ・以上により、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合計した経常収支差額は、87.7 億円（同+35.5 億円）となった。

<財務指標>

- ・2015 年度以降、経常収支差額 50 億円以上の確保と、このうち「一般財源での経常収支差額」20 億円以上の確保を目標としている。この目標は、施設設備を維持する財源を確保し、安定的な財務基盤を構築するため、毎年度継続的に確保する必要がある額として設定したものである。
- ・2019 年度は、経常収支差額は 87.7 億円、「一般財源での経常収支差額」は 62.3 億円となり、うち特殊要因である運用商品の一部利益確定等による配当金 33.4 億円を除いても 28.9 億円となり、上記に掲げた目標を達成した。

今後、国の修学支援新制度の開始、新型コロナウィルス感染症にかかる対応（経済的に困窮している学生への緊急支援金、オンライン授業受講に関する支援）など、財政の見通しが不透明な状況であるが、教育・研究等の優先事業を判断しながら、財政運営を図っていく。

2. 事業活動収支計算書

教育活動収支は、収入面では、2017年度からの学費改定（入学初年度の学費負担軽減）の効果により、学生生徒等納付金が666.8億円（前年度比+3.7億円）と増加したが、入学志願者数の減少により手数料が41.4億円（同△2.1億円）と減少した。また、経常費等補助金が125.0億円（同+0.4億円）、付随事業収入が79.6億円（同△7.2億円）となり、教育活動収入計は989.5億円（同△5.2億円）となった。

支出面では、退職給与引当金繰入額および退職附加年金の支出減により、人件費が489.4億円（同△4.5億円）と減少した。また、2020年度から本稼働する研究開発センターに関する移転費用の発生や入試前予約採用型給付奨学金の拡充の一方で、電力会社の切替えによる光熱水費の減少や次期法人系システムの構築の終了に伴う情報整備関連経費の減少によって、教育研究経費が431.2億円（同△7.6億円）、管理経費が39.3億円（同+1.5億円）となり、教育活動支出計は960.2億円（同△10.6億円）となった。以上により、教育活動収支差額は29.2億円（同+5.4億円）となった。

教育活動外収支は、運用商品の一部利益確定等により、受取利息・配当金が54.8億円（同+30.4億円）となり、土地信託事業の収益も含め、教育活動外収支差額は58.4億円（同+30.1億円）となった。

以上の結果、経常収支差額は87.7億円（同+35.5億円）となった。

特別収支は、資産売却差額、資産処分差額、施設設備寄付金等の臨時的な収支を計上し、特別収支差額は6.0億円（同△2.1億円）となった。

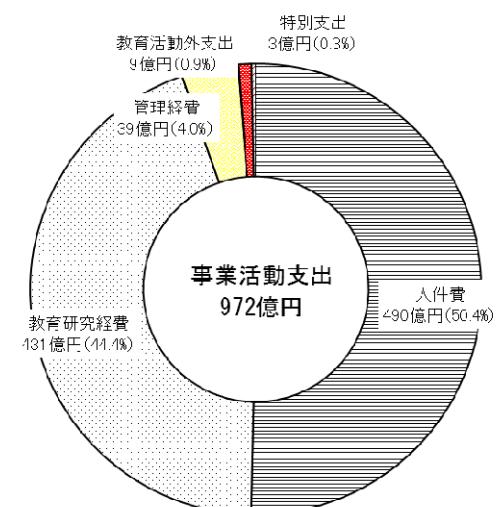
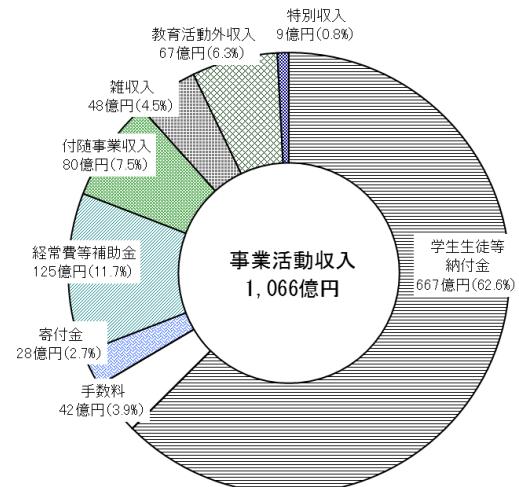
以上により、基本金組入前当年度収支差額は93.7億円（同+33.4億円）となった。

事業活動収支計算書

2019(平成31)年 4月 1日から
2020(令和 2)年 3月31日まで

(単位 百万円)

科 目	本 年 度	前 年 度	増 減
教育活動収支	学生生徒等納付金	66,682	66,315 368
	手数料	4,142	4,348 △ 206
	寄付金	2,833	2,679 153
	経常費等補助金	12,498	12,458 40
	付随事業収入	7,963	8,678 △ 715
	雑収入	4,831	4,988 △ 158
	教育活動収入計	98,948	99,466 △ 518
	人件費	48,942	49,392 △ 450
	教育研究経費	43,119	43,876 △ 756
	管理経費	3,929	3,779 150
教育活動支出	徴収不能額等	34	35 △ 0
	教育活動支出計	96,024	97,081 △ 1,057
	教育活動収支差額	2,924	2,385 539
	受取利息・配当金	5,483	2,443 3,041
	その他の教育活動外収入	1,255	1,167 88
教育活動外収支	教育活動外収入計	6,738	3,609 3,129
	借入金等利息	41	45 △ 4
	その他の教育活動外支出	853	733 120
	教育活動外支出計	894	778 116
	教育活動外収支差額	5,844	2,832 3,012
特別収支	経常収支差額	8,768	5,217 3,551
	資産売却差額	29	551 △ 521
	その他の特別収入	870	1,261 △ 391
	特別収入計	899	1,812 △ 913
	資産処分差額	291	1,000 △ 709
特別支出	その他の特別支出	10	1 9
	特別支出計	301	1,001 △ 700
	特別収支差額	599	812 △ 213
基本金組入前当年度収支差額			9,366 6,028 3,338



3. 資金収支計算書

2019 年度の収支状況を資金の流れでみると、2019 年度に入金した資金の総額は 1,196.2 億円であり、前年度繰越支払資金 330.5 億円を加えた収入合計は 1,526.8 億円であった。

一方、2019 年度に支出した資金の総額は、施設関係支出 116.1 億円、設備関係支出 24.9 億円を含め 1,323.2 億円であり、翌年度繰越支払資金は 203.5 億円となった。

4. 活動区分資金収支計算書

2019 年度の資金の流れを活動区分ごとにみると、教育活動による資金収支は 141.7 億円、施設整備等活動による資金収支は△131.0 億円であり、教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額は 10.6 億円となった。

また、その他の活動による資金収支は、有価証券購入等により△137.6 億円となり、翌年度繰越支払資金は前年度繰越支払資金から 127.0 億円減少した。

5. 貸借対照表

2019 年度末の資産の部合計は 3,863.4 億円で、その内訳は、固定資産 3,617.8 億円、流動資産 245.6 億円であった。このうち、運用資産残高（現金預金、有価証券、特定資産の合計額）は 1,209.4 億円で、前年度末から 57.9 億円増加した。

一方、負債の部合計は 600.4 億円で、その内訳は、固定負債 336.4 億円、流動負債 264.0 億円であった。このうち、借入金残高（長期借入金、短期借入金の合計額）は 62.1 億円で、前年度末から 5.5 億円減少した。

また、基本金は 4,126.4 億円、繰越収支差額は△863.4 億円となり、純資産の部合計は 3,263.0 億円で、前年度末から 93.7 億円増加した。

資金収支計算書

2019(平成31)年 4月 1日から
2020(令和 2)年 3月31日まで

(単位 百万円)

科 目	金 額
収 入 の 部	学生生徒等納付金収入 66,682
	手数料収入 4,142
	寄付金収入 2,813
	補助金収入 12,501
	資産売却収入 29
	付随事業・収益事業収入 9,208
	受取利息・配当金収入 5,483
	雑収入 4,884
	借入金等収入 0
	前受金収入 11,470
	その他の収入 16,189
	資金収入調整勘定 △ 13,778
	前年度繰越支払資金 33,052
	収入の部合計 152,675
支 出 の 部	人件費支出 49,156
	教育研究経費支出 32,878
	管理経費支出 4,015
	借入金等利息支出 41
	借入金等返済支出 550
	施設関係支出 11,608
	設備関係支出 2,487
	資産運用支出 31,976
	その他の支出 10,019
	資金支出調整勘定 △ 10,408
	翌年度繰越支払資金 20,354
	支出の部合計 152,675

活動区分資金収支計算書

2019(平成31)年 4月 1日から
2020(令和 2)年 3月31日まで

(単位 百万円)

科 目	金 額
教 育 活 動	教育活動資金収入計 98,750
	教育活動資金支出計 85,455
	差引 13,295
	調整勘定等 870
	教育活動資金収支差額 14,165
	施設整備等活動資金収入計 802
	施設整備等活動資金支出計 14,110
	差引 △ 13,308
	調整勘定等 205
	施設整備等活動資金収支差額 △ 13,103
	教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額 1,062
	その他の活動資金収入計 19,512
活 動 の そ の 他	その他の活動資金支出計 33,203
	差引 △ 13,691
	調整勘定等 △ 69
	その他の活動資金収支差額 △ 13,760
	支払資金の増減額 △ 12,698
	前年度繰越支払資金 33,052
	翌年度繰越支払資金 20,354

貸借対照表

2020(令和 2)年 3月31日

(単位 百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産 361,778	339,129	22,649
	有形固定資産 244,546	240,356	4,189
	特定資産 54,311	56,048	△ 1,737
	その他の固定資産 62,921	42,725	20,196
	流動資産 24,561	37,407	△ 12,847
負 債	資産の部合計 386,339	376,536	9,803
	固定負債 33,637	34,553	△ 916
	流動負債 26,400	25,047	1,352
	負債の部合計 60,036	59,600	436
純 資 産	基本金 412,641	409,759	2,881
	繰越収支差額 △ 86,338	△ 92,823	6,485
	純資産の部合計 326,303	316,936	9,366